企　画　書

|  |
| --- |
| １　進行管理の体制 |
| （１）責任者及び担当者の体制、本業務での役割、担当者数など |
|  |
| （２）業務フローや遂行スケジュール |
|  |
| （３）主担当者の業務実績及び経歴や取得資格（正本には名前を記載すること） |
|  |
| （４）業務の再委託の有無及び再委託業務の範囲について |
|  |
| （５）感染症拡大や交通障害等に伴う緊急時における代替体制の確保について |
|  |
| （６）令和７年度における他自治体での申込み及び業務受託状況 |
|  |
|  |
| ２　調査票（提案能力・実施に関する工夫） |
| （１）調査項目改善や新しい視点等の調査項目についての提案 |
|  |
| （２）紙面及び電子申請の回収率向上のための提案 |
|  |
| （３）高齢者が見やすく理解しやすい表現やレイアウト等の工夫 |
|  |
|  |
| ３　調査票（調査項目についての考え方） |
| （１）次期「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第10期大田区介護保険事業計画・（仮称）大田区認知症施策推進計画」の策定につながる視点 |
|  |
| （２）地域包括ケアシステムの推進に向けた視点 |
|  |
| （３）介護と就労の両立を図るための調査とする視点 |
|  |
| （５）単身高齢者への支援に焦点を当てた視点 |
|  |
| （６）ケアマネジメント力の強化と適切な介護保険サービスの利用を促す視点 |
|  |
| （７）日常生活圏域ごとの高齢者のフレイル・介護予防に向けた「自助」の取組みと、地域の「互助」形成に向けた取組みの傾向・課題等を把握する視点 |
|  |
| （８）日常生活圏域ごとの高齢者福祉サービス及び介護保険サービスのニーズを把握し、適切なサービス見込量等につなげていくための視点 |
|  |
|  |
| ４　集計作業、分析方法、統計評価の工夫 |
| （１）統計作業における正確かつ迅速なデータ作成の方法及び検証方法 |
|  |
| （２）調査結果の集計・分析方法の工夫 |
|  |
| （３）自由意見に対する分析方法の工夫 |
|  |
| （４）統計評価（文章部分）の策定に当たっての工夫（読みやすさ、わかりやすさへの配慮） |
|  |
|  |
| ５　個人情報保護に対する配慮 |
| （１）個人情報保護に対する方針 |
|  |
| （２）従業者の管理体制や作業場所の確保について |
|  |
| （３）宛名ラベル及びこれを貼付した封筒等の管理方法 |
|  |
| （４）回収した調査票及び集計データ等の管理方法 |
|  |
| （５）過去の個人情報漏えい等の事故について（有りの場合は、対応と再発防止策についても記入すること） |
|  |
|  |
| その他、本委託業務の実施に当たって法人独自の工夫 |
|  |
|  |
| ６　他区市町村の業務受託実績 |
| （１）他自治体（２３区又は大田区と同規模の自治体等）での受託実績 |
|  |
| （２）その他同種・類似の調査及び計画策定などの受託実績 |
|  |
| （３）老人福祉計画（高齢者福祉計画）・介護保険事業計画策定に伴う実態調査業務の受託実績 |
|  |
| （４）老人福祉計画（高齢者福祉計画）・介護保険事業計画の策定支援業務の受託実績 |
|  |
| （５）認知症施策推進計画に伴う実態調査業務の受託実績 |
|  |
| （６）認知症施策推進計画の策定支援業務の受託実績 |
|  |

　※行は適宜広げてください。